

東京オリンピック 2020

オリンピックが東京で2020年に開催されることが9月7日(日本時間9月8日午前5時)にアルゼンチンのブエノスアイレスで開催されたIOC総会で決まりました。オリンピックが日本で開催されたのは私が高校3年生の1964年です。

体育の授業はすべて、武道場でテレビでのオリンピック観戦です。その時のテレビ映像では、雨のあと、競技場トラックで、水たまりの水を雑巾で吸い取る作業の様子や女子平均台で日本の選手がきれいな宙返りを見せるのに対し、アジアの選手がふらつきながら演技をしていたことが記憶に残っています。

しかし一番感動を受けたものは開会式の整然とした行進と閉会式の世界が一つになったような和気藹々の入場です。

オリンピックが国民の体力向上の必要性を喚起させ、やがて紺野晃氏らの手によってオリエンテーリングが北欧から導入され、総理府の体力向上、健康づくりの掛け声のもとに、広がっていきました。各地で開催されるオリエンテーリング大会は電車もあふれるほど満員で大変な賑わいを見せました。

国が中心になって旗をふっていましたので県教育委員会、市教育委員会の反応もよく、教育委員会内に県、市のオリエンテーリング委員会ができ、市民大会の開催やパーマネントコースの開設が進みました。

また、新幹線の開業や東名高速道路も開通し、東京都内も高速道路が巡り、大きく景観が変わりました。

今回はさらに大きな変化が予想されます。大きな変化の中ではささやかな部類と思いますが、日本オリンピック委員会や日本体育協会、そして日本オリエンテーリング協会が入る岸記念体育会館はオリンピックの1964年に建設され50年近くたち、老朽化し、耐震性の問題もある、日本体育協会100周年を迎え、立て替えが検討されたが、東京都の都市整備公園に指定されていることもあり規制が厳しく、計画は難航しています、オリンピックを機に一気

に進むことも考えられます。その時は家賃の値上げも行われると予想されます。

知名度の乏しいオリエンテーリングにとって「岸記念体育会館」に事務所があるということは、誇りです。何とか集金能力を高め、事務所の維持を図ってほしいものです。



JOAが入っている岸記念体育会館



東京オリンピックでの小野清子さん

日本オリエンテーリング協会の会長を務めた小野清子元参議院議員は東京オリンピック夫の小野喬氏とともに出場し、女子団体が銅メダル獲得に大きく貢献した。また、小野元会長は日本オリエンテーリング協会が森永乳業の支援を打ち切られ、港区の事務所を撤退せざるを得なかったとき、岸記念体育会館を紹介していただいた。

常設コースの今

大阪の公園常設コースでコントロールが抜き去られ、なくなっており、原因を調査したところ設置不明の器物として市が撤去したものと分かった。多くのPCではコントロールごとに持ち主を記載していないと思われるが、それにして、これがオリエンテーリングに用いているものであることすらわからなくなっている社会の状況に啞然とし、落胆をする。まあ、市のものならば市が不要と判断し撤去するのは勝手であるという見方もあるが今回は違うようである。

設置した市や団体と常にコンタクトをとり、市や団体のものであるという意識付けを行っている県もある。

今一度、誰のものとするかを関係者と協議して、所有者をコントロールに表示することが必要ではないだろうか。

また、設置には地主の同意が必要なので、最初と同様に行政の持ち物としておいた方が移設が必要になったときは都合がよい。

大会中止にしないための地主への一配慮

愛知県協会では毎年トレイルランニング大会を実施しているが、その時通路確保のための作業について、地元の反応を列挙しましたので、オリエンテーリング大会開催時の参考にしてください。要は朽木も笹も地主の者であり、他人が手を加えることにいい気はしない人は少なくないということです。

(1) 昨年台風で朽木が倒れ、踏み跡道をふさいだので、通れるように片づけた。あとで区長さんに報告したら、「朽木といえども持ち主はある」とあまりいい顔はされなかった。

(2) 数年前、尾根筋を通すために、間伐木を片づけたいと森林組合に相談したら、「必ず元の株の方(元々の地主の方)へ寄せてください」とのこと。

(3) 尾根筋の笹を短く刈りすぎて、あいにくの雨で、ランナーが滑り、地肌が露出し、地元から苦情を言われた。